

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成21年9月24日(2009.9.24)

【公表番号】特表2009-504891(P2009-504891A)

【公表日】平成21年2月5日(2009.2.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-005

【出願番号】特願2008-527142(P2008-527142)

【国際特許分類】

C 0 9 J 123/00 (2006.01)

C 0 9 J 201/00 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 123/00

C 0 9 J 201/00

C 0 9 J 11/06

【手続補正書】

【提出日】平成21年8月3日(2009.8.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ホットメルト接着剤組成物であって、以下の成分：

約5重量%～50重量%のガラス状のポリ- -オレフィン；

約5重量%～70重量%のゴム状ポリマー；

約5重量%～65重量%の相溶性粘着付与剤；

約0重量%～3重量%の安定剤；

約0重量%～10重量%の可塑剤；および、

約0重量%～50重量%のワックス；

のブレンドを含み、

該組成物の上記成分を加えて100重量%になる組成物。

【請求項2】

約10重量%～30重量%のガラス状ポリ- -オレフィンポリマーを含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

ガラス状のポリ- -オレフィンポリマーが60 より高い融点を有する、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

ガラス状のポリ- -オレフィンポリマーが100 より高い融点を有する、請求項1に記載の組成物。

【請求項5】

ガラス状のポリ- -オレフィンポリマーが120 より高い融点を有する、請求項1に記載の組成物。

【請求項6】

ガラス状のポリ- -オレフィンポリマーが130 より高い融点を有する、請求項1に記載の組成物。

## 【請求項7】

ガラス状のポリ- -オレフィンポリマーが約0.1g/10分~2,000g/10分の溶融流量を有する、請求項1に記載の組成物。

## 【請求項8】

ガラス状のポリ- -オレフィンポリマーが約5g/10分~200g/10分の溶融流量を有する、請求項1に記載の組成物。

## 【請求項9】

ガラス状のポリ- -オレフィンポリマーが約8g/10分~100g/10分の溶融流量を有する、請求項1に記載の組成物。

## 【請求項10】

ガラス状のポリ- -オレフィンポリマーが、C2~C10炭素を有する少なくとも1種の -オレフィンの重合生成物を含むポリマーである、請求項1に記載の組成物。

## 【請求項11】

ガラス状のポリ- -オレフィンポリマーが、主として、プロピレン(C3)モノマー単位を含む、請求項10に記載の組成物。

## 【請求項12】

約15重量%~55重量%のゴム状ポリマーを含む、請求項1に記載の組成物。

## 【請求項13】

ゴム状のポリマーが、20より低いガラス転移温度を有する、請求項1に記載の組成物。

## 【請求項14】

ゴム状のポリマーが、0より低いガラス転移温度を有する、請求項1に記載の組成物。

## 【請求項15】

ゴム状のポリマーが、-10より低いガラス転移温度を有する、請求項1に記載の組成物。

## 【請求項16】

ゴム状のポリマーが、約1g/10分~5,000g/分の溶融流量を有する、請求項1に記載の組成物。

## 【請求項17】

ゴム状のポリマーが、177での粘度100mPas~約500,000mPasを有する、請求項1に記載の組成物。

## 【請求項18】

ゴム状のポリマーが、約5~約200のMooney数を有する、請求項1に記載の組成物。

## 【請求項19】

前記ゴム状のポリマーが、非晶質ポリ- -オレフィン類(APAO)、エチレン-プロピレンゴム(EPR)、エチレン-プロピレン-ジエンゴム(EPDM)、ポリエチレンエラストマー、ポリプロピレンエラストマー、ポリエチレンプラストマー、ポリプロピレンプラストマー、ポリイソプレンおよびポリブタジエンからなる群より選択される、請求項1に記載の組成物。

## 【請求項20】

約30重量%~50重量%の粘着付与剤を含む、請求項1に記載の組成物。

## 【請求項21】

前記粘着付与剤が、脂肪族および脂環式石油炭化水素樹脂、水素化された脂肪族および脂環式石油炭化水素樹脂、芳香族石油炭化水素樹脂、水素化された芳香族石油炭化水素樹脂、脂肪族/芳香族石油誘導炭化水素樹脂、水素化された脂肪族/芳香族誘導炭化水素樹脂、芳香族改質された脂環式樹脂、水素化された芳香族改質された脂環式樹脂、ポリテルペン樹脂、天然のテルペン類のコポリマーおよびターポリマー、天然および改質されたロジン、天然および改質されたロジンのグリセロールおよびペンタエリスリトールエステル類、および、フェノール性改質されたテルペン樹脂からなる群より選択される、請求項1に記載の組成物。

## 【請求項22】

可塑剤が、鉱油、オレフィンオリゴマーおよび液体ポリブテン類からなる群より選択される、請求項1に記載の組成物。

## 【請求項 2 3】

前記ワックスが、ポリエチレン、石油ワックス、合成ワックスおよびポリオレフィンワックスからなる群より選択される、請求項1に記載の組成物。

## 【請求項 2 4】

ラミネート構造を製造する方法であって、

接着剤受容表面を有する第1の基板を用意し；

第2の基板を用意し；

第1の基板の前記接着剤受容表面上に請求項1～2 3のいずれか1項に記載のホットメルト接着剤を塗被し；

加圧下、第1および第2の基板を相互に接触させて第1の基板を第2の基板に接着させる；  
各工程を含む方法。

## 【請求項 2 5】

接着剤受容表面を有する第1の基板；

前記接着剤受容表面に面する表面を有する第2の基板；および、

前記第1および第2の基板を一緒に接着してラミネート構造を形成する前記第1の基板の前記接着剤受容表面に配置した請求項1～2 3のいずれか1項に記載のホットメルト接着剤組成物；

を含むラミネート構造。

## 【請求項 2 6】

ホットメルト接着剤としてそれに塗被された請求項1～2 3のいずれか1項に記載の組成物を少なくとも一部含む自動車ヘッドライナー。